

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら北坂戸教室

保護者等数(児童数)

回収数 12 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12件	件	件	件	※開所まもなくご意見は多くはありませんでしたが、 公表いたします	専門的分野は研修や経験でスキルアップしていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10件	件	件	2件		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12件	件	件	件		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12件	件	件	件		
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12件	件	件	件		出来る事が増えたと児童・保護者の方の自信・喜びに変えられるよう、内容を段階を踏まえたものにしていく。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11件	件	件	1件		研修参加して色々な方向から支援できるように、再度見直し、理解を深めていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12件	件	件	件		保護者の方と相談をし、支援していく。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11件	件	件	1件		個々の苦手・得意を見つけるため、色々な事に挑戦して出来る事に繋がっていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3件	1件	1件	7件		保護者の方の気が進まない意見もあり、進めていませんが、是非交流は図りたいと思っている。
保護者への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12件	件	件	件		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12件	件	件	件		スタッフ全員が把握して、業務にあたるように見直します
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7件	1件	1件	3件		スタッフ全員で研修してスキルアップしていこうと思います。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	12件	件	件	件		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8件	1件	件	3件		色々な事例も頭に入れて的確な受け答えで、支援を進めて行きます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1件	件	2件	9件		希望者の方だけでもいいので、考えて行きます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11件	件	件	1件		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12件	件	件	件		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8件	件	件	4件		
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	11件	件	件	1件			
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11件	件	1件	件		お便り等で報告していく事を検討。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7件	件	件	5件		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	12件	件	件	件		児童・保護者の気持ちに沿った支援を目指します。
	23 事業所の支援に満足しているか	11件	1件	件	件		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 しばんはうすさくら北坂戸教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10件	件	生活の流れに応じて部屋等使い分けられている。	活動に応じてもと広くスペースを使うことも良い。
	2 職員の配置数は適切であるか	10件	件	利用者の日ごとの人数により職員の配置数を工夫している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10件	件	視覚からの情報伝達をしている物が多くある。	少しずつ細かな所までツールを増やしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10件	件	場合に応じて小まめに消毒等出ている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9件	1件	一部の職員同士では出来ていると感じる。	保護者様とコミュニケーションを取り些細なことでも共有できるのではないかと感じる。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10件	件	少しずつではあるが改善されているのではと感じる。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9件	1件		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8件	2件		コロナの影響の為出来ていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8件	2件	月に1度の全体会議の実施を行っている。	コロナの影響の為出来ていない。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10件	件		少しずつ色々な種類を増やしていけると良い。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9件	1件	利用者それぞれの発達に合わせたツールは用意されていると思う。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10件	件		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10件	件		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9件	1件		職員それぞれの知恵が出し合えば良い。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10件	件	日ごと週ごとに活動プログラムが変更されている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10件	件	利用者に応じて臨機応変に対応できていると感じる。	同じ時間が時折流れていることもあるため職員同士で話し合い飽きない活動ができれば良い。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10件	件	支援内容の確認はそれぞれ行われている。	役割分担はその場に応じて臨機応変に行う。リーダーを決めているのでリーダーの指示出しの工夫や進行の流れをスムーズに出来る様なサブの動きが取れると良い。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9件	1件	夕礼を実施し、支援の振り返りやヒヤリハット等共有している。	夕礼時間の確保を行い、詳しい意見交換まで出来る様に工夫する。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10件	件	記録は状況が分かりやすいように細かく端的にまとめている。	
関係	20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9件	1件	保護者様への課題の進捗状況などを連絡帳を通じてや送迎の際にお伝えしている中で、希望や変更が必要と判断した時には、随時面談を設け直し変更を検討している。	検討会議に参加できる職員が雇ってしまう為出来るだけ多くの職員が参加し個々に合わせた支援の周知が出来ると良いと感じる。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10件	件	基本は児童発達支援管理責任者が参加する形になっているが状況に応じて現場職員の児童把握が詳しいスタッフが参加することもある。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10件	件		コロナの影響のため出来ていない。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9件	1件		コロナの影響のため出来ていない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7件	3件		コロナの影響のため出来ていない。

機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10件	件	必要に応じて相談専門員や学校からの希望で情報共有を行うが、現状ほとんどコロナの影響の為出来ていないことが多い。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9件	1件	コロナの影響のため出来ていない。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8件	2件	コロナの影響のため出来ていない。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4件	6件	コロナの影響のため出来ていない。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	5件	5件	コロナの影響のため出来ていない。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10件	件	出来るだけ細かくその日の子どもの状況を伝えるようにしている。保護司者側の声も聞くよう工夫している。	1日を通して見ることが出来なかった場合、見ていた職員が状況を伝えてくれると良い。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5件	5件	コロナの影響のため出来ていない。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10件	件	契約時に必ず説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10件	件		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10件	件	お迎えの際や送迎時、その他電話でのやり取りなどこちらから最近の様子や困り事はないかの確認の声掛けを実施している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5件	5件	コロナの影響のため出来ていない。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9件	1件	事業所の人員体制の中で出来る限りの整備を行い対応できる範囲で対応を行っている。	相談や申し入れに対し職員の主観で対応しないように窓口を一本化し即日対応できるように職員同士のコミュニケーションを密にしていけると良い。また、各職員からの意見等を共有しながら教室としての形を作り上げていけると良い。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10件	件	月に一度活動の様子や教室からのご案内を発行している。臨時の場合にも即日発行を心がけている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10件	件	個人情報保護法に添った対応を心がけ、個人が特定できる内容の書類などはシュレッダーをかけて処分している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10件	件	相談専門員を通してだったり電話ではなく対面で説明するなど配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3件	7件	コロナの影響のため出来ていない。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6件	4件	訓練は半年に1度児童も参加の上で実施を行っている。マニュアルについては教室の掲示や書庫での保管を行いすぐに見られるようにしている。	職員へのファイルの保管場所の周知ができていないため、全員が目を通すように周知する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6件	4件	半年に1度児童も参加の上で訓練の実施を行っている。	まだ、未実施だがいろいろな災害を想定して実施しておきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	10件	件	利用者の状況については職員同士の把握ができてきている。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10件	件	アレルギーのある児童についてはおやつ提供はせず自宅でご準備をいただく形としている。	もしもの事を考えアレルギー対応を保護者様にもご協力いただいている。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10件	件	1日の終わりでヒヤリハット等の確認共有ができていく。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7件	3件	県主催の研修を受けるように心がけている。	まだ、未受講のスタッフもいるため研修受講を早急に進める。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7件	3件	契約時に保護者にも説明を行う。職員には入職時研修で周知している。	男性職員もいるため異性への対応については十分な注意を払って対応を行う。出来るだけ同性職員での対応を行うが、どの程度遠見守るのかについては児童の実態を小まめに共有し対応を徹底していく。	